

# 電磁ブザー

## ピン端子

## 発振回路内蔵

## SDC シリーズ

Issue date: January 2013

- 製品をより正しく、安全にご使用いただくために、さらに詳細な特性・仕様をご確認いただける納入仕様書をぜひご請求ください。
- 記載内容は、改良その他により予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- RoHS指令対応：EU Directive 2002/95/ECにもとづき、免除された用途を除いて、鉛、カドミウム、水銀、六価クロム、および特定臭素系難燃剤のPBB、PBDEを使用していないことを表します。

# 電磁ブザー

## ピン端子 SDCシリーズ

RoHS指令対応製品

### SDC1610M5-01、SDC1610MT-01 / $\phi 16$ mm

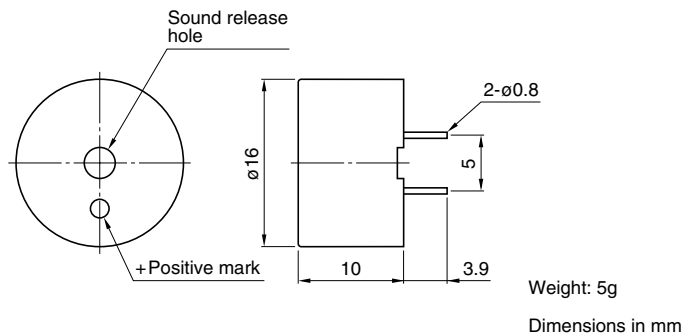
#### 特長

- 回路内蔵型で、直流電源を接続するだけで発音させることができます。
- チップ部品の採用により大幅に小型化され、高い信頼性をもっています。

#### 用途

パソコン、事務機器、家電製品など。

#### 形状・寸法



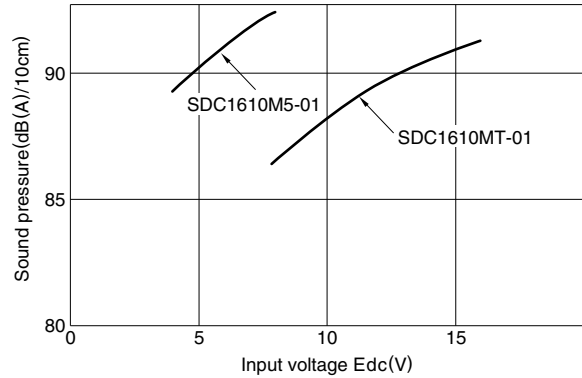
#### 特性・仕様

品名	SDC1610M5-01	SDC1610MT-01
定格電圧 Edc(V)	5	12
動作電圧 Edc(V)	4 to 8	8 to 16
周波数 (Hz)*	2400 $\pm$ 20%	2400 $\pm$ 20%
音圧 (dB(A)/10cm)min.*	85	85
平均電流 (mA)max.*	30	25
端子構造	ピン端子	ピン端子
使用温度範囲	-10 to +70°C	
保存温度範囲	-20 to +80°C	

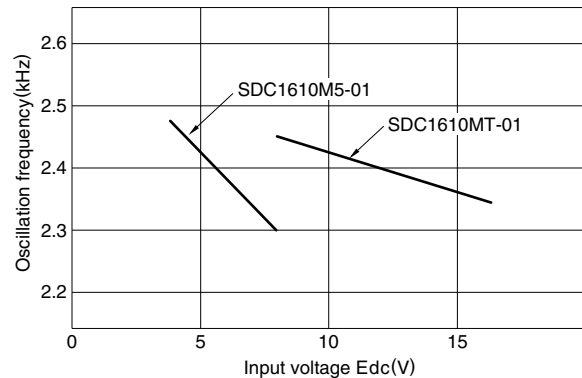
\* 駆動条件：定格電圧



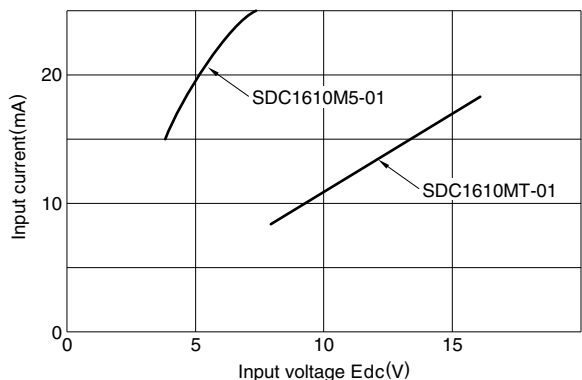
#### 入力電圧による音圧変化



#### 入力電圧による周波数変化



#### 入力電圧 - 電流特性



● RoHS 指令対応：EU Directive 2002/95/EC にもとづき、免除された用途を除いて、鉛、カドミウム、水銀、六価クロム、および特定臭素系難燃剤の PBB、PBDE を使用していないことを表します。

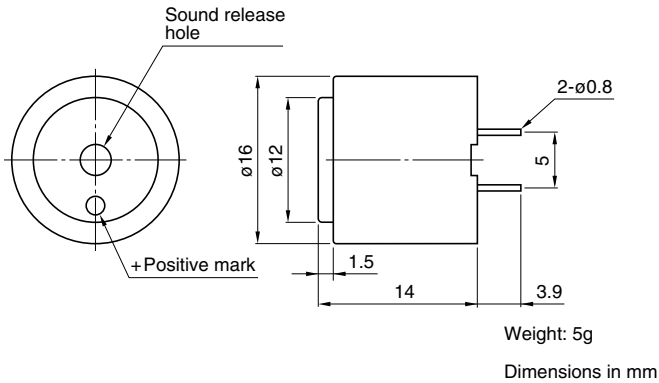
⚠ 製品をより正しく、安全にご使用いただくために、さらに詳細な特性・仕様をご確認いただける納入仕様書をぜひご請求ください。  
記載内容は、改良その他により予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

**SDC1614L5-01、SDC1614LT-01 /  $\phi$ 16mm**
**特長**

- 回路内蔵型で直流電源を接続するだけで発音させることができます。
- 1900Hzの低周波発振タイプですからソフトな音質です。
- チップ部品の採用により小型化され、高い信頼性をもっています。

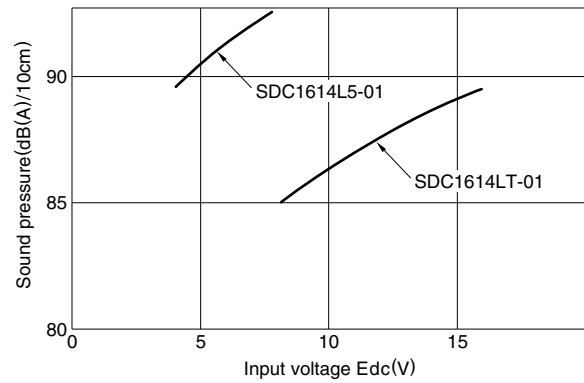
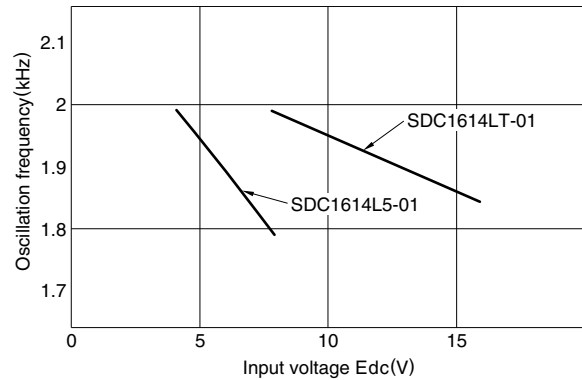
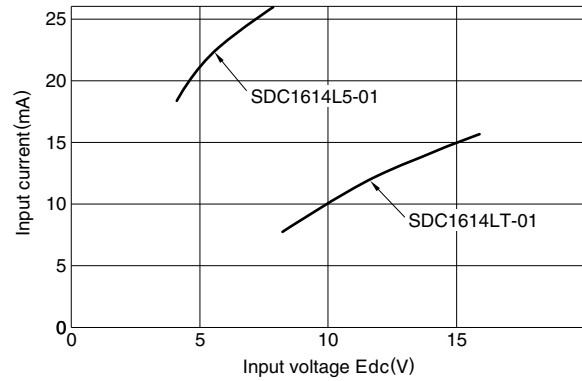
**用途**

パソコン、OA 機器、医療機器、事務機器（電子タイプライタ、ECR など）、家電製品（電子レンジ、電子ジャーなど）

**形状・寸法**

**特性・仕様**

品名	SDC1614L5-01	SDC1614LT-01
定格電圧 Edc(V)	5	12
動作電圧 Edc(V)	4 to 8	8 to 16
周波数 (Hz)*	1900 $\pm$ 20%	1900 $\pm$ 20%
音圧 (dB(A)/10cm)min.*	85	85
平均電流 (mA)max.*	30	25
端子構造	ピン端子	ピン端子
使用温度範囲	-10 to +70°C	
保存温度範囲	-20 to +80°C	

\* 駆動条件：定格電圧


**入力電圧による音圧変化**

**入力電圧による周波数変化**

**入力電圧 - 電流特性**


## ご使用上の注意事項

本製品をご使用の前に必ず、下記をご確認ください。

- 本製品をご使用にあたっては、注意事項に十分留意され、安全設計を行ってください。  
ご使用方法を間違えると、発煙・発火などの恐れがあります。
- 耳の近くで発音させないでください。  
耳の近くで音を聞くと、また聞き続けると聴力機能障害となる恐れがあります。  
耳の近くで発音させないよう、消費者に対する注意を徹底してください。
- 動作電圧範囲を超えて使用しないでください。  
動作電圧範囲を超えて使用した場合には、内蔵しているコイルの発熱によりコイルが劣化し、音圧低下や抵抗値変化する恐れがあります。  
内蔵しているコイルの発熱によりコイルがレアショートした場合には、使用機器に大電流が流れ使用機器の発煙、発火に至る恐れがあります。
- TDK電磁ブザーはマグネチック方式の発音体です。  
発音体以外の用途には使用しないでください。
- TDK電磁ブザーは、大気中以外で使用しないでください。
- 次の環境では使用しないでください（対策を講じてあるものは除きます）。
  - ・ 腐食性ガス（Cl<sub>2</sub>、NH<sub>3</sub>、SO<sub>x</sub>、NO<sub>x</sub>など）
  - ・ 粉塵の多いところ
  - ・ 雨、霧、塩水などのかかるところ
- 機器の設計時に TDK 電磁ブザーを装着後、信頼性評価試験を行い、異常のないことを確認してください。
- 使用温度範囲以外では使用しないでください。
- 相対湿度90%（ただし上限湿球温度38℃）を超えて長時間使用しないでください。
- 安全装置、警報装置の発音体として使用する場合、事故を防止するため安全回路を設けたり、同等性能の発音体の併用など、万全の措置を講じてください。
- 電磁波、電圧変動、リップル電圧の影響を受けることがあります。  
実装状態で確認し、安全化回路、シールドなどの対策を講じてください。
- TDK 電磁ブザーをモールド加工または接着固定しますと、モールドまたは接着剤の熱膨張ストレスにより、端子はんだ付部が劣化することがあります。  
モールド加工または接着固定するときは、封止材の種類、量、硬化条件、接着性などを検討し、信頼性を確認した上で行ってください。
- 規定以上の振動、衝撃（落下など）を加えないでください。
- 基板に取り付けてはんだ付けする際、端子ピンは曲げないでください。
- 端子ピンには規定以上の力を加えないでください。
- 高温で（はんだ付け作業時に）端子ピンに力を加えないでください。
- 接触不良の原因となりますので、端子ピンのはんだ付けは、汚れ、錆などのない清浄な状態ではんだ付けしてください。
- プリント基板に直接取付け、はんだディップする場合は、フラックスの煙、その他の異物が放音孔より浸入しないように注意してください。
- 洗浄はしないでください（洗浄対応品は除きます）。
- 消費者がTDK電磁ブザーに手を触れることができる機器では、TDK電磁ブザーの放音孔に異物（はり、ヘアピン、ゴミなど）を入れないよう、消費者に対する注意を徹底してください。
- TDK 電磁ブザーはコイルを使用していますので、誘導性負荷となります。  
TDK 電磁ブザーに並列にダイオードを入れるなど、ドライブ回路を保護してください。
- TDK電磁ブザーを再加工しないでください。
- 機器の取り付け部の形状、取り付け場所により音圧が変わります。実装状態で確認してください。
- TDK電磁ブザーには極性があります。  
取付の際、極性違いをしませんよう注意してください。極性違いをしますと次のような異常となります。
  - ・ 回路なしタイプ：音圧差を生じます。
  - ・ 回路付きタイプ：発音しません。
- 定格周波数以外の周波数では特性（音圧）が変化し、バラツキが大きくなることがあります。
- TDK 電磁ブザーはマグネットを使用しておりますので、外に磁界が発生しております。  
機器等設計の際は、磁界による異常のないことを確認してください。
- TDK 電磁ブザーは、外からの磁界の影響を受け特性が変化することがあります。  
実装状態で確認し、シールドなどの対策を講じてください。
- 劣化、損傷の恐れがありますので、保管場所は保存温度範囲内とし、急激な温度変化、直射日光、腐食性ガス、ちり、ほこりのある雰囲気避け、荷重応力を加えないよう包装状態のまま保管してください。